

題 材 「どうして意地悪するの？」(対象：中学年)

1 ねらい

相手に嫌な思いをさせることをしてはならないことを理解させる

2 場面設定

アレルギーのために食べられない卵がたくさんつがれていた

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、全部読む。)

みなさんは、この資料を読んでどう思いましたか？

誰かが、意地悪を思いついて、ウズラの卵をいっぱいついでんでしょね。

そのとき、周りの人の中には、「おもしろそう」と言った人がいるかもしれません。

でも、「やめよう」と言った人もきつといるはずですよ。

しかし、残念ながら、ウズラの卵はいっぱいにつがれたままです。

□ こんなとき、みなさんだったらどうしますか？

「なんで卵がいっぱい入っているのー！」とすぐにみんなに言える人、何も言えずに困ってしまう人、中には泣き出してしまう人もいるかもしれませんね。

□ しかし、「心が傷付いている」ということは一緒ですね。

身体の傷は外から見えますが、心の傷は分かりにくいものです。

軽い気持ちでやったことでも、その人の心を深く傷付けることがあるのです。

相手の心を傷付けることは、絶対に許されるものではありません。

□ 「ちょっと待てよ。相手はどう思うかな？」「もし自分がそんなことをされたら・・・」と相手の立場に立って考えることがとても大切ですね。

## どうして意地悪するの？

みんな知ってるのに・・・  
どうしてイヤなことをするんだろう？

わたしは、小さいころからたまごアレルギーで、たまごを食べることができません。そのことを、家の人  
が先生に伝えて、先生はクラスのみ  
んなに話してくれています。

でも、給食時間に係の仕事をしていて教室にもどったら、温食  
の中にウズラのたまごがどっさり・・・。しかも、わたしのお皿  
にだけ。

こまったわたしを見て、みんながニヤニヤ笑っている気がする。  
わたしがたまごを食べられないことをみんな知っているのに。  
どうしてこんなことをするの？



- ① たまごだけをのこして食べる。
- ② 「だれがこんなことをしたの？」とみんなに訴える。
- ③ 先生に相談する。

題 材 「みんなになんてあやまろうかな？」(対象：低学年)

1 ねらい

失敗を責めるのではなく、皆で助け合うことの大切さを理解させる

2 場面設定

給食準備の時、カレーの入れ物をひっくり返してしまった

3 指導の流れ

□ (プリントを配付し、全部読む)

みんなが楽しみにしていたカレーがこぼれてしまって大変だね。

でも、わざとひっくり返したわけではありませんよね。

□ 周りの人の言葉をみなさんはどう思いますか？

「カレーが食べたかった」という気持ちはよく分かりますね。

でも、もうカレーは元には戻りません。

私がどんどん辛くなるだけです。

□ では、どうしたらいいのかな？

この話には続きがあります。

給食当番の友だちが、すぐに担任の先生に知らせたので、先生はとんできてくれたそうです。

先生は真っ先に「けがはない？大丈夫？」と声をかけて、心配されたそうです。

そのあと、他のクラスの先生に相談して、少しずつカレーを分けてもらって、みんな大好きなカレーを食べることができました。

□ その後、クラスみんなはどうしたと思いますか？

カレーを分けてくれたクラスの友だちに、みんなでお礼を言いに行きました。

もちろん、カレーをこぼしてしまった人は、心の底からクラスみんなにお礼が言えたそうですよ。

□ 失敗することは誰にでもあります。大事なことは、失敗したことを責めるのではなく、クラスみんなが助け合っていくことです。

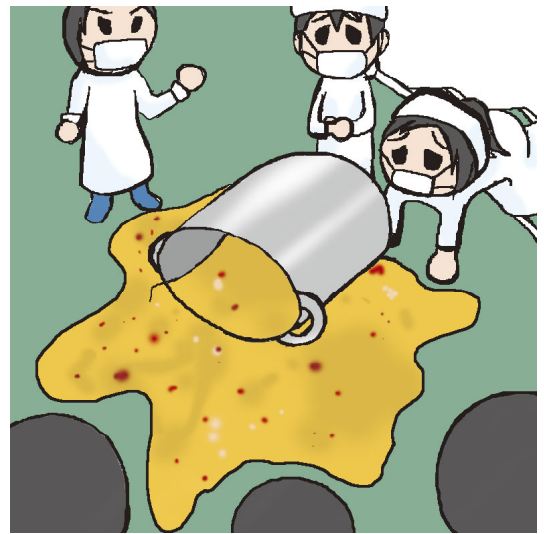
## みんなになんてあやまろうかな？

わざとじゃないのに・・・  
どうすればいいのかなあ？

わたしたちの教室は2かいにあるので、きゅうしょくをはこぶのはたいへんです。

わたしは、きゅうしょく当番の時、かいだんでつまずいて、カレーのに入った入れものをひっくりかえしてしまいました。

「けがはない？」としんぱいしてくれた友だちもいましたが、大きわぎになって、みんなはいろいろなことを言っています。



「どうするんだよ！」

「ごはんだけでたべるの？」

「今日のカレー楽しみにしてたのに。」

「ちゃんと前を見てないからだよ。」

「あーあ、さいあく・・・」

わたしは、どうしたらいいのかなあ？